

第5回ベスト・インスペクター賞受賞発表会／表彰式

大賞は白須裕毅氏(広島) 特別賞に田村充規氏(北海道)

ヒューマンフェア初日の9月15日、小ホールでは第5回ベスト・インスペクター賞の受賞発表会／表彰式が行われ、6人の受賞者が参加した。

インスペクター(建築物清掃管理評価資格者)とは、ビルメンテナンス業務における作業の結果と業務の管理体制を評価・改善し、品質の向上を図る専門資格者のこと。発表会では、6人の受賞者が自ら管理する建物を現地審査した評価内容や、改善点をどのように変えてきたかという活動等を発表した。

そして審査の結果、白須裕毅氏(広島管財株)が大賞を受賞。特別賞には田村充規氏(北海道クリーン・システム株)が選ばれた。



大賞に輝いた白須氏の発表風景

白須裕毅氏 広島バスセンター

白須氏は社内インスペクションを実施するにあたり、全国協会認定のインスペクションシートを社内へ落とし込み易いように、最大で9枚の写真を入れたA3用紙1枚のものに作り変えているという。審査建築物の広島バスセンターは昭和49年竣工の築40年の建物。デパート、バスターミナルが入り、清掃面積は1万345平方メートル。これを総員20名で日常清掃(午前5時30分～午後10時)と定期清掃を年中無休で行っている。

平成26年度の社内インスペクションの結果は1回目が56%で、2回目は68%だった。インスペクターによる指摘事項は、清掃が従事者個々の自己流で行われている、社内で禁止している歯ブラシや私物を持ち込んで作業している等多々あったが、大切なのはこれらの指摘事項を改善することだった。それには日常清掃方法の確立が肝心と考えた。

その日常清掃方法は落とし込みのために、清掃従事者研修の充実が大切という結論に至ったが、皆に興味を持って前向きに参加してもらうために内容を工夫し、様々な取り組みを行った。それは、①実技指導②車座によるデイスカッション③現場での研修④あいさつ訓練⑤DVDの視聴⑥指導教本による座学⑦人の作業を見て自分の作業を直す実技などで、研修ツールとしてはATP拭き取り検査やブラックライトも使った。研修が本来の目的を達成したことを確認するため、研修後には感想や意見を書いたアンケートを作成、その一方で研修内容を参加者に4段階で評価してもらい、講師も自ら振り返りを行った。



大賞を受賞した白須氏(左)とPC操作を担当した寺本順氏(右)